

自転車

自転車は堺市を代表する産業の一つ。もともと自転車はドイツで生まれ、日本には江戸時代末期に伝來した。明治時代に掛けて輸入品が主流となるものの、第一次世界大戦で大半の輸入品がストップを余儀なくされる。このとき機械金属の加工技術を継承する鉄砲かじ職人たちが自転車の修理や部品供給に尽力。堺市内に自転車の生産地を形成する原動力を生み出したという。

現在、自転車は人々の生活にとって欠かせない製品となっている。堺市でも地元自治体として自転車を重要な産業と位置づけ、活性化に向けた取り組みに乗り出した。その一つが通勤・通学用の自転車を提供する事業「さかいコミュニティサイクル」。地域振興に貢献できる施策として普及を進めている。

ただ日本国内では低価格の中国製自転車の輸入量が急速にシェアを伸ばし、国産品を圧倒しているのが実情だ。そこで堺市内の自転車メーカーでも低価格品に対抗するため、パンクしない自転車を投入するなど高付加価値品の開発・販売で存在感を示している。

一方で、自転車の役割も変化の兆しが少しづつ見え始めた。移動手段としての存在だけでなく、健康維持や二酸化炭素(CO₂)を排出しないツールとしても注目を浴びている。最近では、堺市がパンクしない自転車を東日本大震災後の被災地帯に提供。同自転車が現場の足として利用されるなど、活躍の場を広げている。他にも自転車による走行で東北地方を支援するイベント「Cycle Aid Japan 2012」が5月12日から開催されるなど、自転車の果たす役割の拡大に期待が集まっている。

タオル

泉州地域のタオルは、織織後に漂白や染色を施す「後ざらし」と呼ばれる製造技術を採用している。別の産地では織織前に漂白・染色を行なう「先ざらし」の製法が確立されており、後ざらしは先ざらしに比べると意匠性に乏しい。しかし後ざらしで生産する泉州タオルは高い吸水性など機能性に優れている点で、他の産地の製品にはない特徴を備えている。

歴史的に大阪府泉佐野市のタオルは国産品発祥の地として有名だ。1887年(明治20年)に佐野村(現泉佐野市)の白木綿業者だった里井圓治郎氏が、織物表面の糸を輪状に織り込んだバイアル地製織法の開発に成功。以来、タオルの生産が盛んになったと言われている。その後は泉佐野市にとどまらず泉南市など泉州南部に生産業者が集積し、全国でも有数の地場産業へと成長を遂げた。

品質の高い国产タオルだが、国内流通品の大半は中国などの海外品で占められている。そこで業界団体の大坂タオル工業組合(大阪府泉佐野市)では、地元産タオルによる産業振興策を推進。泉州産タオルの地域ブランド「泉州こだわりタオル」を立ち上げ、新たな消費者層の開拓に力を入れている。

同組合では地元企業などが開発したオリジナルタオルを同ブランドに認定。東京でも展示会を開催し、泉州こだわりタオルのアピール強化で成熟化しているタオル産業の再活性化を目指す。

ワイヤロープ

クレーンやエレベーター、ロープウェー、造船など幅広い分野に使用されるワイヤロープ。ほかにも吊り橋などの構造物向けをはじめ土木建設などにも利用されており、国土開発にとって重要な役割を担っている。南大阪・泉南地域の一帯はワイヤロープの産地でも国内有数の規模を持ち、貝塚市や泉佐野市を中心としたメーカーが数多く集まっている点で特徴的だ。

現在、国内のワイヤロープメーカー各社は新製品の開発に軸足を置いている。具体的には作業時の扱いややすさを考慮して、ロープにしなやかさを与えた製品など高機能品の市場投入で新規ユーザーの開拓を狙う。技術面以外では短納期化の推進などを強化。ユーザーに配慮した姿勢の明確化にも取り組み、独自性の発揮に努めている。

ただワイヤロープ市場も最近になって他分野と同様に、海外低価格品の攻勢を受け始めた。特に中国、韓国、台湾からの輸入品との競争が激化している。これらアジア諸国の製品に対し、泉南地域をはじめとする日本企業でも新製品開発はもちろん品質保証やアフターサービスの強化など日本の強みを前面に押し出すことで、海外品との違いを打ち出す考えだ。

刃物

包丁やはさみなど刃物類も堺の伝統産業の一つとして、業界団体や行政が普及に注力している。

例えば堺市やその周辺地域で培われた製法で生産した刃物類を「堺打刃物(さかいとうもの)」の名称でブランド化。堺打刃物は生産工程に鍛造技術を使う点が特徴で、現在も職人が一本ごとに手作りで仕上げている。「切れすぎる」ほどの完成度で、なかでも和包丁はプロの料理人から高い評価を得ているといふ。

刃物の切れ味の鋭さは国内だけでなく、海外からも注目を浴びている。そこで堺市は、食品に関する伝統・地場産品の海外販売を支援する組織「堺食産業海外セールス実行委員会」を立ち上げた。会員は堺市や堺刃物商工業協同組合連合会(堺市堺区)の加盟企業などで構成。米国など海外見本市への出展などを通じて、会員企業が扱う刃物や食品などの海外市場開拓を狙う。

これまでにも堺市は、米国ニューヨーク市内で和包丁など刃物についてのPRイベントを実施。主にプロのシェフを主なターゲットに堺刃物のアピールを行い、販路開拓に力を入れてきた。堺市は今回の委員会設立で海外販路の開拓支援を本格的に推進し、後継者難など課題が多い刃物産業の活性化に取り組む。

一方、国内については堺伝統産業会館(旧堺刃物伝統産業会館、堺市堺区)を昨年10月にリニューアルした。刃物を中心に堺の伝統産品を展示・販売する施設として運営しており、新たな施設による集客効果で堺刃物産業の振興を目指す。

線香

線香も堺の伝統産品であり、市内には業界を代表する老舗メーカーが拠点を構えている。線香の歴史は古く、日本における生産の起源は天正年間(16世紀末ごろ)といふ。堺に線香文化が根付いたのも、京都や奈良に比肩するほど寺院が多く、他の文化を受け入れやすい堺人気質も線香製造の普及を促進したと考えられている。

堺における線香の生産量は、第二次世界大戦前で全国シェアの約60%にまで拡大した。しかし同大戦下の堺空襲で打撃を受け、現在は兵庫県淡路市がトップとなっている。ただ線香生産で先駆けた土地柄だけあって、堺には創業数百年の線香メーカーも少なくない。製法も香木である柏(たぶ)の皮など天然素材の香料を調合する技術を生み出している。

長い歴史を持つ業界だが、最近は新しい動きも目立ち始めた。例えばコーヒーの香りの採用や、アロマセラピー向けといった既存の線香にはない新市場の開拓。新市場への展開とともに米国や、アジアなど海外市場開拓の検討に乗り出した企業もある。特に若い経営者が中心になって線香需要の拡大と知名度アップに力を入れており、線香産業は古さと新しさをミックスした新たな方向で生き残りを模索している。

ベアリング

軸受(ベアリング)は、自動車から工作機械などあらゆる分野に使用されている。ベアリング産業が国内基盤を確立した時期は、大正後期から昭和初期ごろ、機械の移動部などに欠かせない重要な部品といふこともあって、南大阪地域でも堺市を中心に地場産業の一つとして発展を遂げてきた。

特に南大阪地域には中堅クラスのベアリングメーカーが多く、各社とも大手に負けない独自技術の展開で高品質の製品供給に務めている。同地域にベアリングメーカーが数多く拠点を構えてきた背景には、古くから鍛冶技術に優れていたといった歴史的な経緯がある。さらに堺の代表的な産業である自転車分野などで、ベアリングを必要とするといった理由も指摘されている。

実際、堺には特色ある製品を開発する企業が目立つ。例えばベアリングとハウジングと呼ばれる固定用金属部品を組み合わせた軸受ユニット(ピローブロック)は、堺の企業がいち早く製造販売に着手した。同ユニットは機械設備全般に幅広く使用されており、ベアリング業界の発展においても堺の企業が大きな役割を果たしていると言えそうだ。

SHIMANO



「安全」と「安心」。

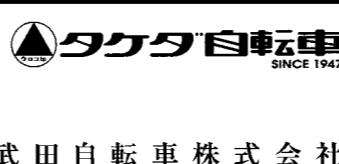
世界の人々に、本当に安心して乗れる自転車機能をお届けしたい。

製品における品質や性能は、「安全な物」であるとともに、使うことへのストレスを解消してくれる「安心できるモノ」でなければなりません。シマノ LEDオートライトシステム。LEDだから電池切れなどの走行中のトラブルがほとんどなく、ドライバーや歩行者からの視認性も優れています。

毎日乗るものだから——シマノ LEDオートライトシステム。



自転車のまち堺から



武田自転車株式会社
〒590-0943 大阪府堺市堺区東之町2-2-8
TEL:072-238-8401 FAX:072-228-1178
人と地球にやさしい自転車をご愛用ください。
ホームページ: http://www.takedabicycle.co.jp



絹川ネジ工業株式会社
〒590-0006 大阪府堺市堺区錦綾町2丁2番11号
TEL:072-238-5001代・FAX:072-238-5003

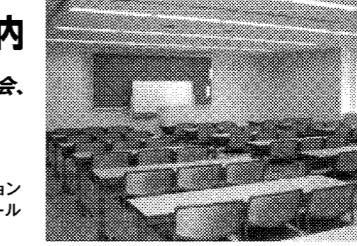
「貸会場施設」のご案内

展示会、見本市、講演会、研修会、会議等の会場をお探しの方は、お気軽に当センターへ!

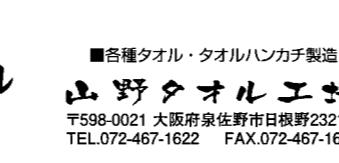
イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大小会議室・セミナー室、小ホール等をお貸ししています。

インターネットに接続したパソコンから、堺市施設予約システムを通じて、施設の空き状況の検索や予約ができます。予約をする場合は、窓口で事前の登録が必要です。携帯電話からもご利用できます! (携帯用URL) http://www.city.sakai.lg.jp/i/shisetsu/top.html (施設予約システムへは、センターホームページからリンクしています。)

法人 堀市産業振興センター
TEL:072(255)0111 FAX:072(255)5200
〒591-8025 堀市北区長曾根町183-5
http://www.sakai-ipc.jp/



泉州産地の伝統技法である「防染」を現代的に蘇らせました。



■各種タオル・タオルハンカチ製造
山野タオル工場
〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野2321-1
TEL:072-467-1622 FAX:072-467-1623

販売代理店 神藤織物株式会社 TEL:072-467-2026(代) FAX:072-467-1938



www.naniwa-wire.co.jp

浪速製鋼株式会社

〒597-0051 大阪府堺市王子450番地
TEL:072(431)5781 FAX:072(431)5783

当社の熱プロセス技術は刃物鋼の品質向上に貢献しています
ISO 9001・14001認証取得 堀技衆 認証0071
真空熱処理、イオン窒化処理、ワイヤ放電加工

八田工業株式会社

本社 〒599-8265 堀市中区八田西町2丁18番40号 TEL:072-277-7227(代)
http://www.hatta.co.jp/ FAX:072-277-8960

創業文化二年



堺打刃物製造卸
包丁・鉄・台所用品

株式会社 和泉利器製作所

本社 〒590-0934 堀市堺区久留町東1丁15 号0722890888
資料館 〒590-0927 堀市堺区久留町西2丁111 号0722909293
金物工場 〒590-0927 堀市堺区久留町西2丁23 号0722909293
浪海工場 〒592-8352 堀市堺区西畠港浜吉田2号 号0722890168

http://www.sakai-toji.co.jp/

古式鍛練の技、近代技術の粋…



株式会社 山脇刃物製作所

〒590-0937 堀市堺区宿屋町西1丁2-21
TEL:072(228)3335 FAX:072(228)3352
E-mail: yh@yamawaki-hamono.co.jp



堺打刃物司

刀匠一竿子忠綱本舗

有限会社 永田刃物

本社 〒590-0953 大阪府堺市堺区甲斐町東1丁1番4号
TEL:072(232)1132(代) FAX:072(222)1948
工場 〒590-0930 大阪府堺市堺区柳之町西3丁8番3号

爪付剣

名香

梅榮堂

創業三百余年

好文木

こうぶんぼく

梅榮堂

梅榮堂